



努力なくして進路実現なし!

～ まずは学習習慣、見直しましょう ～

今年度第1回目の定期考査が終了しました。3年生にとっては特に大事な2回のうちの1回、また1年生にとっては初めての考査でもあり、それぞれ違う緊張感を持って臨んだことと思います。結果はどうだったでしょうか。点数という結果を、ただ良かったとか悪かったと捉えるだけでなく、是非「この次の考査に向けてどんな取り組みをすべきか」という、具体的な行動(=努力すべきこと)を考える視点で捉えて欲しいです。

第1回家庭学習調査実施

中間考査1週間前4日間の
学習時間を調査!

今年度は、考査前の学習時間を調査することにしています。「時間がすべてではない」かもしれませんが、考査前の学習時間にしては「短い!」と言わざるを得ない結果でした。普段の家庭学習がどうなっているのかとても心配です。卒業した先輩達が希望のところに就職・進学できたのは、それに向けて「努力した結果」であり、本校に在籍しているだけで実現できるわけではありません。進路実現(=未来)に向けていかに取り組むべきかももう一度よく考えてください。

★受験生、1日の
学習時間(9月時点)
4割が5～6時間
3割が3～4時間
(ベネッセ調査)

来校者に聞きました!!

就職関係情報

4月当初より企業の方々から卒業生の情報や、今後の見通しなどの情報を持って来校して下さっており、県外はすでに70社以上の来校を受けています。3年生のほとんどが部活動引退の時期となりましたので、しっかり情報収集し、来たるべき日に備えて欲しいです。

なお、求人票公開は7月1日からです。

県外

- ★工業系の業種・企業でも、科・男女不問という企業がかなりある。
- ★評定3.8以上、SPI150点以上などはっきり数字で条件を出している企業もある。

県内

- ★求人数は多くないが、10年近く高校求人を出していなかった企業からの求人がある。
- ★希望があればいつでも訪問可能という企業もあり。

OB(田村さん)からエール!

「社会人としての基本は挨拶」



皆様、はじめまして。私は統合前の旧大館工業高校(機械科)卒業の42歳です。卒業後、東京都内の専門学校に進学、機械設計を学び、特定派遣会社に入社して設計業務をするとともに、自社で新人たちに技術研修・ビジネスマナー研修などを行ってまいりました。

社会人としての基本は「挨拶」です。みなさんはどんな挨拶をしていますか? 「オス」「ウス」「・・・(無視)」等などの挨拶をしていませんか?

社会人としてこの様な挨拶を先輩や上司にした場合、短気な先輩であれば「俺をナメてんのか?」と言われたり、上司であればあきれられたり、人間性を疑われたりします。受け取る人によっても色々あると思いますが、第一印象はかなり悪くなります。これからの就職活動、そしてこれから社会人となるべく身に付けておくべきは、「挨拶」がきちんとできることです。在学中のうちから挨拶をきちんと意識して下さい。特に先生や先輩にはきちんと挨拶する。入社すると、初めは年上ばかりです。挨拶できないと「満足に挨拶もできないのか?」と陰口を言われたり、第一印象が悪くなり助けが必要な時助けてくれなかったりします。だから、在校生の皆さんには是非「挨拶」はきちんと行ってほしいと思います。社会人として人として挨拶は基本で、「明るく・ハッキリ・元気に!」受け答えをするだけで好感を持たれますよ。

平成29年度の教育実習生の3人の先生方にインタビューしました。学校や専攻選び、大学生活の様子を知って進路研究に役立てましょう。

- 質問内容** ①大学や専攻を選んだ理由 ②教育実習をしよう（教員免許をとろう）と思った理由
③大学生活でのやりがいや楽しさ ④大学生活での苦勞 ⑤大学受験時の勉強や対策法
⑥高校時代やって良かったこと、やれば良かったこと ⑦みなさんへのメッセージ

工藤 先生 （教科：保健・体育）

国士舘大学・体育学部・武道学科

- ① 剣道の名門で伝統校であるため強い憧れを持っていた。また、剣道の専門家や教育者を養成する所としても有名である。教員免許が取れるので将来の夢にピッタリ合った。
- ② 高校時代の部活動をきっかけに、自分の人生の中で大切だなと思うことを顧問の先生から教わって、その先生のようになりたいと思った。
- ③ 自分の学びたい内容を自分で選択して勉強できる。
- ④ 勉強と部活の両立に大変苦勞した。朝稽古を行い、日中は授業、午後はまた部活と忙しく、勉強する時間が十分とれなかった。高校では関係ないかもしれないが、大学ではサークル等しながらアルバイトをする人もいる。授業をおろそかにし、その科目の単位を落とすと卒業できない。
- ⑤ 入試の範囲の問題を、ひたすら参考書等も使いながら解いた。
- ⑥ 部活動の辛く苦しい場面で、他の仲間と乗り越えることにより、絆や信頼感が生まれた。
- ⑦ 高校生活を悔いの無いように頑張ってください。

齊藤 先生 （教科：建築）

八戸工業大学・工学部・土木建築工学科

- ① 建築についてより専門的に学びたいと思ったのと、部活動（野球）も続けたかった。
- ② 小中高の先生のおかげで成長することができたので、自分も生徒にとってそんな先生になりたいと思う。
- ③ より専門的なことを学べる。新しい友だちと出会い、これまでと違う環境で生活できる。
- ④ 学習面での苦勞が多く、高校よりテストが難しい。
- ⑤ 面接練習を何度もした。
- ⑥ 基礎学力をしっかりと身につけておくべきだ。
- ⑦ 自分の夢に向かって努力を続けてください。



実際に配付した通信を一部変更しています。

石井 先生 （教科：情報）

日本工業大学・工学部・建築学科

- ① 大学…オープンキャンパスで訪れた際に、充実した設備や講義内容に魅力を感じた。
学部…関東に遊びに行った際に、今まで見たことのない建物を見て、この建物はどのようにできているか疑問を持ち、建築に興味を持つようになった。
- ② 仕事をする上で、必ず人に教える立場になるために必要だと思った。
- ③ 同じ夢や目標を持った人たちが集まり、切磋琢磨しながら、お互いが成長できる環境にあること。時間割を自分で決めることができ、やりたいことができる。
- ④ 模型、製図、CAD、研究室 教授の求めるものが高く、自分の思い通りにいかず大学に泊まることもある。
- ⑤ 課外授業への参加
- ⑥ やって良かった→学校行事への積極的参加 やればよかったこと→勉強
- ⑦ 迷ったら行動してみることが大切です。いろいろなことにチャレンジすることで視野が広がり、新しい発見につながります。仲間やクラスを大切にしながら高校生活を楽しんでください。